

サポセンニュース

(第 40 号)

知多市更生保護サポートセンター

名 称	令和 7 年度視察研修（第 2 回）（愛知県知多警察署・愛知県警察本部）
開 催 日 時	令和 7 年 1 月 13 日（木）
記 事	<p>・ 今年度 2 回目の研修会を開催!!</p> <p>保護司会 15 名、知多更生保護女性会 5 名の合計 20 名で、愛知県知多警察署と愛知県警察本部の 2 か所を訪問しました。普段なかなか見る機会のない警察施設をじっくりと見学することができ、大変有意義な研修となりました。</p> <p>・ まず知多警察署を訪問</p> <p>最初に訪れた知多警察署では、潮田署長から温かい歓迎の挨拶をいただきました。続いて、口野警務課長より「知多市における犯罪状況」や「知多警察署の主な取り組み」について説明がありました。近年の犯罪発生傾向や重点的に取り組んでいる対策などを具体的に教えていただき、地域の安全を支える警察活動の現状を改めて理解する機会となりました。</p> <p>説明の後は、参加者が 2 班に分かれ口野警務課長と足立生活安全課長の案内で署内の施設を見学しました。道場では警察官が実施する訓練内容について説明があり、また、留置所については 10 月から半田警察署へ集約された経緯を含めて説明を受けました。屋外では、パトカーと白バイの装備・役割について詳しく説明していただきました。実務的な話が多く、普段は知ることのない内容で非常に興味深いものでした。署をあげて丁寧に対応していただき、参加者からも感謝の声が多く上がりました。</p> <p>・ 続いて愛知県警察本部を見学</p> <p>次に向かった愛知県警察本部では、一般向けの見学コースが整備されており、各展示を順番に案内していただきました。最初に、信号機の形状や構造が時代とともにどのように変化してきたかを紹介する展示があり、交通安全対策の歴史を学ぶことができました。さらに、愛知県内の交通量や道路状況をリアルタイムで把握できる大きなパネルも非常に印象的で、交通管制の仕組みや役割を実感することができました。一番驚かされたのは、県内全域から寄せられる 110 番通報の受付状況を示すパネルでした。通報内容に応じて、緊急度が赤・黄・緑の 3 色で表示されるようになっており、一目で対応の優先度が判断できる仕組みになっているとの説明がありました。実際の警察本部の緊迫した現場を垣間見るように、参加者からは「初めて知った」「こうして処理されているのか」といった声が聞かれました。</p> <p>・ 研修を終えて</p> <p>今回の視察研修では、日頃は立ち入ることができない場所を見学し、警察の仕事の一端に触れる貴重な時間となりました。今回の研修で学んだことを今後の活動に活かしていきたいと思います。</p>